



Eジャーナルしずおか

平成24年(2012年)
9月20日
木曜日
第100号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_saisaku@pref.shizuoka.lg.jp

キャリア・コンサルタント派遣事業

キャリア・コンサルタントって何?

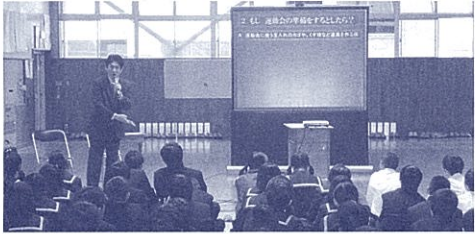
本来は、就職を希望する人に対して、様々な相談支援を行う専門職です。最近では、小・中学校におけるキャリア教育の実践を支援する存在として全国的にも注目され、活躍しています。

キャリア・コンサルタントを活用した取組の一部を紹介します。

職場体験を軸としたキャリア教育プログラム

○キャリア・コンサルタントによる講話

社会や職業に対して興味や関心を持ち、視野を広げる。



14歳のハローワーク

○教材カードを使ってのグループワーク

職業について広く正しい情報を知り、自らの志向や適性について考える。



カードセッションの様子

○キャリア・コンサルティング(個別相談)の実施

職場体験の受入れ事業所から、体験学習を行った生徒の表れについて聞き取り、広い視野で生徒に対して助言や支援を行う。

○教員向けキャリア・コンサルティング研修会の実施

多くのカウンセリングやセミナー等の経験から、学校内部だけでは収集できない、社会の現状について様々な情報を提供する。

県教育委員会では、職場体験の一層の充実にあたり、モデル校(中学校17校、小学校3校)にキャリア・コンサルタントを派遣し、学校と連携して授業実践を行っています。

未来の自分につなげる

大人の世界に直接触れる職場体験は、生徒の成長を促す大変よい機会です。単発のイベントで終わらせないように、事前学習や事後学習も含めた生徒の学びの充実が、自らの生き方をしっかり見つめることになり、未来の自分につなげるチャンスとなります。

県教育委員会では、将来の夢や職業、働くことなど、自分の生き方について考えることができるような学習プログラムを作成し、その成果をホームページで発信する予定です。【学校教育課小中学校教育局】

「わたしの主張2012」 心に響く中学生の発表 最優秀賞は飯山亜美さん

中学生が学校や家庭など日常生活の中で感じたことや、未来への希望を発表する「わたしの主張2012」県大会を、8月17日、菊川文化会館アエルにて開催しました。

中学生の思いが込められた発表を通じて、聴衆の皆さんには、中学生の健全で豊かな感性を実感していただけたのではないのでしょうか。

本大会は、昭和54年の国際児童年をきっかけに開催され、今年で34回目を迎えた歴史ある大会です。

応募作品数、1万8473点の中から県内4地区の大会で選ばれた12人が壇上で自分の思いを発表しました。

今年度は、困難に立ち向かうとすべく、支えてくれる人たちの助け合いの大切さを表現した作品が多く寄せられました。また、自分の生まれ育った地元や遠く離れた故郷、違う文化を持つ外国等様々な地域へ目を向けた作品も多く、フレッシュな感覚にあふれる主張が印象的でした。

最優秀賞の、御殿場市立原里中学校3年の飯山亜美さんは、「弟」と題した作文で、障がいを持つ弟との日常や、特別支援学校を訪れた体験によって変化した自分の思いを発表しました。弟とのコミュニケーションに用いている「マカンスイ」を使って、「わたしには大好きな弟がいます」と語る飯山さんの主張は、私たちをとても清々しい気持ちにさせてくれました。

飯山さんは、関東甲信越静岡ブロック大会に進み、11月に行われる全国大会への出場を目指します。【社会教育課】



子どもたちの心の今

今、子どもたちの心が揺らいでいます。様々な調査からは、生活環境や社会環境の変化の中で、生きることの大切さ、自己の豊かな生き方などを描くことが苦手となってきている子どもたちの姿が浮かび上がります。

道徳教育の改善の方向

このような子どもたちの課題に対応するために、各学校や各地域の実態に応じた一丸となつて、指導体制と計画を作り、道徳教育を推進していかなくてはならない状況にあります。そのためにも、まずは、教師と子ども、子ども同士の良好な人間

関係づくりを大切にしていくことが必要です。県教育委員会では、中学校区単位の小・中学校が連携を図り、保護者や地域とともに道徳教育を推進する「道徳教育総合支援事業」を進めています。

道徳教育の充実・改善に向けては、大きく二つの方策があります。一つは、小・中学校9年間を見直し(縦の接続、各発達段階における指導の重点を明確にして、道徳の時間の工夫改善を図ることです。道徳の時間については、これを要として、他の教育活動における道徳教育との関連を図ることが求められます。もう一つは、家庭や地域の理解や協力の連携に基づき、学校生活全般

高校生の交通安全

平成17年から21年まで減少してきた県内高校生の交通事故死傷者数が、平成22年から急激に増加しました。平成23年には、4人の県内高校生の尊い命が交通事故により奪

地域連絡協議会

上野小学校または上野中学校のホームページを御覧ください。【学校教育課小中学校教育局】

高校生の意識の高さは?

県教育委員会では、高校生の交通事故が増加した原因を探るため、公立高等学校の全ての生徒を対象として、「高校生の交通安全に関する意識調査」を実施し、生徒の交通安全に対する意識の持ち方や、交通ルールの理解度の把握に努めました。

その結果、交通安全に無関心の生徒が12%(約8千人)いることや、自分の命を守るために、受身の姿勢ではなく、同じ地区の他校の生徒と協力して、主体的な協議や活動しようという取組です。【学校教育課健康・安全班】



道徳の時間で豊かな心を育てる

子どもたちに豊かな心を育む手立て

道徳教育総合支援事業

自分への信頼感や自信などの自尊感情の乏しさを、他者への思いやりを欠いたり、人間として持つべき最低限の規範意識が見受けられない問題行動も見られたりしています。

道徳教育の充実・改善に向けては、大きく二つの方策があります。一つは、小・中学校9年間を見直し(縦の接続、各発達段階における指導の重点を明確にして、道徳の時間の工夫改善を図ることです。道徳の時間については、これを要として、他の教育活動における道徳教育との関連を図ることが求められます。もう一つは、家庭や地域の理解や協力の連携に基づき、学校生活全般

実践的な取組・研究の発表会を開催

縦の接続・横の連携

道徳教育の充実・改善に向けては、大きく二つの方策があります。一つは、小・中学校9年間を見直し(縦の接続、各発達段階における指導の重点を明確にして、道徳の時間の工夫改善を図ることです。道徳の時間については、これを要として、他の教育活動における道徳教育との関連を図ることが求められます。もう一つは、家庭や地域の理解や協力の連携に基づき、学校生活全般

実践的な取組・研究の発表会を開催

高校生の交通安全

平成17年から21年まで減少してきた県内高校生の交通事故死傷者数が、平成22年から急激に増加しました。平成23年には、4人の県内高校生の尊い命が交通事故により奪

地域連絡協議会

上野小学校または上野中学校のホームページを御覧ください。【学校教育課小中学校教育局】

実践的な取組・研究の発表会を開催

縦の接続・横の連携

道徳教育の充実・改善に向けては、大きく二つの方策があります。一つは、小・中学校9年間を見直し(縦の接続、各発達段階における指導の重点を明確にして、道徳の時間の工夫改善を図ることです。道徳の時間については、これを要として、他の教育活動における道徳教育との関連を図ることが求められます。もう一つは、家庭や地域の理解や協力の連携に基づき、学校生活全般

実践的な取組・研究の発表会を開催

高校生の交通安全

平成17年から21年まで減少してきた県内高校生の交通事故死傷者数が、平成22年から急激に増加しました。平成23年には、4人の県内高校生の尊い命が交通事故により奪

地域連絡協議会

上野小学校または上野中学校のホームページを御覧ください。【学校教育課小中学校教育局】

実践的な取組・研究の発表会を開催

縦の接続・横の連携

道徳教育の充実・改善に向けては、大きく二つの方策があります。一つは、小・中学校9年間を見直し(縦の接続、各発達段階における指導の重点を明確にして、道徳の時間の工夫改善を図ることです。道徳の時間については、これを要として、他の教育活動における道徳教育との関連を図ることが求められます。もう一つは、家庭や地域の理解や協力の連携に基づき、学校生活全般

活発に協議する生徒たち

実践NOTE 199

「いのち」を思いやる心を育てる

三島市立錦田小学校 教諭 福田 夕子



教室の前で集めて、資料の絵本を読み聞かせ(筆者)

「自他の『いのち』を思いやる心を育てる道徳教育」といって三島市道徳教育指導リーダ―道徳部会の研究テーマのもと、試みとして実践している「各教科等や複数時間の関連を図った道徳の時間(2年生における授業)について紹介します。」

ぼくの命もつながっているんだね!

まず、国語科で学習した「ぼたるの一生」(学校図書)と関連をもたせた授業を行いました。資料として、絵本「いのちのまつり」を使いました。「ぼたるの命はつながっているんだね」という国語科での気付きをさらに深め、自分の命もまたさ

「へえー、ぼくの命って子どもたちは、人が生ま



小さな命を感じた子どもたち(学級活動で)

すこいんだね」と言った主人公の気持ちを考えようと投げかけたときのことです。友達の見聞を聞きながら「命をバトンタッチしていきみたい」とつぶやいた子がいました。「どういうこと?」と問

必死に生んでもらうた命は今...

最後に行ったのは、資料集(文溪堂)の「ふしぎな音」を使った授業です。「先祖からつながってきた命」「お腹の中で大切に育てられ、母親が必死に産んで誕生した命」が、「今、自分の中に

子どもたちは、資料を通して「当たり前にしていることも生きていくか」



ドキンドキン!聞こえたよ!



「不思議な音」の授業の板書

授業の流れ

- ① 問題の提示
② 結果の予想(個人活動)
③ 同じ考えの生徒4人程度のグループを編成する
④ 予想と理由を討論してホワイトボードにまとめる
⑤ それぞれのグループで発表し、全体で討論する。(全体活動)
⑥ 実際に実験し、結果を確認する。
⑦ 考察(個人活動)

① 最も肝要なのは発問です。学習内容に関連して生徒が興味関心を抱くような実験を設定し、結果を予想する問題を提示します。思考が拡散しないように、いくつかの選択肢を与えて答えさせます。

② 結果の予想は個人で行い、生徒同士の間で話し合い、その結果を小ホワイトボードを活用して発表し、全体で討論すること

③ 同じ選択肢を選んだ生徒で、グループを作りま

④ 各グループで討論し、ホワイトボードに予想と理由をまとめます。このとき、なるべく多くの理由を併記させます。このよう

道徳教育の要として

道徳の時間は、一つの主題を1単位時間を取り扱うことがほとんどです。しかし、内容によっては複数時間の関連を図った

本校の生徒は自分の意見を率先して発表することが苦手です。その理由は様々ですが、自分の考えに自信を持っていない

⑤ 全体で発表し討論します。

正解・不正解が大切ではないこと、間違えてよいこと、むしろ間違えた方が記憶に残るので良いこと、授業後に正しい理由と結果を自分の言葉で説明できるようにすることが大切だと生徒には伝えて

結果を予想し理由を考

小ホワイトボードを利用したグループ活動



筆者

① 最も肝要なのは発問です。学習内容に関連して生徒が興味関心を抱くような実験を設定し、結果を予想する問題を提示します。思考が拡散しないように、いくつかの選択肢を与えて答えさせます。

② 結果の予想は個人で行い、生徒同士の間で話し合い、その結果を小ホワイトボードを活用して発表し、全体で討論すること

③ 同じ選択肢を選んだ生徒で、グループを作りま

④ 各グループで討論し、ホワイトボードに予想と理由をまとめます。このとき、なるべく多くの理由を併記させます。このよう

実践NOTE 200

自分の考えを自分の言葉で伝える

静岡県立大井川高等学校 教諭 青島 征男



ホワイトボードを利用した活動の様子



実験で確認する様子

県では、将来の県の文化の担い手として期待される子どもたちに、芸術文化への関心を高めてもらうため、小・中学校、高等学校、特別支援学校に地域の芸術家などを講師として派遣する「文化出前講座」を開催しています。

社会教育の新しい展開をめざして

～学校・家庭・地域が連携する仕組みづくり～

これは、第32期県社会教育委員会の審議課題です。学校・家庭・地域の連携は、以前から議論されてきた古く新しいテーマです。審議会は、このことについて、2年間かけて審議し、8月1日に報告書が県教育長に提出されました。

人々の価値観が多様化する中で、人々のつながり方も変化してきています。そこで、学校・家庭・地域の連携には、新しい考え方や仕組みが必要となるのではないかと、ということが、報告書のテーマです。報告書では、6つの連携のための実践事例を分析し、県や市町の社会教育行政へ支援策などいくつかの提言をしています。

提言の要旨

- 1 社会全体で教育に関心を持ち、教育環境の整備に向かう働きかけ
 - ・教育委員会事務局内の、学校教育担当部署と社会教育・家庭教育担当部署の連携体制の強化
 - ・首長部局に理解を求めるアピールや連携の強化
 - 2 社会教育に理解のある人材の養成と活用
 - ・教職員で社会教育主事の資格を有する人の活用
 - ・教職員の社会教育主事講習の受講啓発と教職員研修に社会教育の講座を設置
 - 3 学校教育だと勘違いされがちな社会教育活動への積極的な社会教育行政の関与
 - ・PTA活動の在り方、進め方に対する社会教育行政からの助言の充実
 - ・家庭教育学級の運営に対する社会教育行政からの助言の充実
 - 4 大人の学習機会の保障のための連携施策の検討
 - ・学校教育と社会教育の連携による大人の学習機会の提供
- 【例】高校の「情報」の授業を大人も受講等
・時代の新知見に関する教員の再教育(再学習)の機会の保障



安倍教育長が報告書を手交する鈴木県社会教育委員長

今回の報告書では、学校・家庭・地域の連携を促進するための行政の果たすべき役割について御提言をいただきました。

具体的には、教職員が社会教育を理解し、地域との連携を進めるための環境整備に努めることが強調されています。

一方、社会教育には、NPO等による、型にはまらない自主的・独創的な展開が特色です。そして、社会教育に関わる人々の「思い」が緩やかにつながった時、素晴らしい成果を見せます。そこで、地域に存在する社会教育関係者の「思い」を学校の教職員の「思い」に重ねさせることができるコーディネーターの養成も重要です。

我々、教育行政に携わる者は、こうした人々の「思い」をつなげるための仕組みづくりが使命であり、その成果として、学校・家庭・地域の連携が成立するのかもしれない。(社会教育課)

教育という職の素晴らしさ 頼られる喜びと責任 vol.4

県教育委員会事務局スポーツ振興課 竹村 祐



生徒たちの笑顔に囲まれて(筆者前列左端)

競技レベルに関わらず、妥協しない厳しさも求められました。

卒業後、何年経っても「あの時のことを思い出さなくてドキドキする」と言う子もいます。生徒にとっては、あの経験があったからこそ乗り越えられる、という人生の拠り所となる可能性も秘めています。そういう貴重な時期に携わっていることを、普段あまり考えず余裕はありません。

言葉の重み

陸上競技部の顧問として練習や合宿、試合などにおいて、歓喜の涙、悔しきの涙を生徒と共にしました。部活動は自らの希望で所属するため、つまでも覚えておくといい。

笑顔を求めて

新任の頃は、生徒と一緒に緒になって、グラウンドの草取りをしたり、茶髪を

があります。掛ける言葉の重みを感じます。悪い部分は目につくため、注意しがちです。しかし、全ての選手の良い部分を伸ばすにはどうしたらよいか、という視点で指導すると、一人一人の自主性が育っていくことを感じました。心に届く言葉は、生徒によって異なりますが、個々が輝くことにより自然と組織の力も備わっていきまします。可能性を最大限発揮させる上で、大切な試合ほど信じ見守るだけでいい。

直すため一緒に丸刈りになったり、と今思えば強引な指導でした。もらった大切な身体に穴を開ける子、色を染めたりする子の気持ちにきちんと理解する前に、「それは良くないことだ」と教えるだけなら、それでは良くありません。期待に応えようとする生徒の姿勢が見えたことは嬉しいことでしたが、声を聴きとる余裕が少し足りなかつたのです。

見える部分だけ変化しても、内面の変化が伴わないときもあります。特に多感な時期の子は表現の仕方が不器用です。「なぜ、そうしているのか」という理由をきちんと把握し認めることで、素朴

よく眠ることの大切さ



今年も9月10日の世界自殺予防デーにちなんで9月16日まで自殺予防週間が実施されました。

自殺の背景には様々な要因があります。健康問題としては、自殺にいたる直前に多くの方がうつ病にかかっているというわ

睡眠に注目

「頭痛がする」等です。

睡眠は一般的に脳が疲れて機能が低下するため起こると考えられがちですが、脳が脳自身を休息させるために積極的に作り出す現象です。そのため、脳が健全で活力に満ちていないと、良い眠りは作り出せないのです。

こんな眠りは要注意

平成22年度厚生労働省の調査によると20歳以上で不眠を感じた人の割合は、およそ2人に1人です。

皆さんには、次のよう

- ①寝つきが悪い(30分以下経過しても眠れない、足がむずむずする、飲酒しな
 - ②夜中に何度も目が覚める(息苦しくて起きる、トイレに行きたくなくて起きる)
 - ③普段より2時間以上早く目が覚める
 - ④熟睡感がない(一晩眠っても体が回復してない)
- 一時的な睡眠不足や、心配事があったて眠れない等は誰にでもあります。しかし、睡眠はためること
- な状況はありませんか? 上経つても眠れない、足がむずむずする、飲酒しな
- 仕事では、能率が落ちます。物事への興味関心が減り、行動する気力がなくなるなどの悪影響が出ます。
- また、慢性的な倦怠感不安・いらいら感、頭痛日中の眠気が増し、うつ病発生のリスクが高まりま
- 糖尿病、狭心症、脳血管疾患、がんの誘因となり悪化させます。このほか、労災や交通事故の誘因として数倍のリスクとなります。
- 眠りと活動のバランスを大切にしましょう

教職員を対象とした相談窓口

- 電話相談窓口(24時間対応)
 - ・教職員健康相談24 ☎0120(24)8349
- メンタルヘルス面接相談窓口(要予約)
 - ・公立学校共済組合 ☎0120(783)269
 - ・県教職員互助組合 ☎0120(034)054
 - ・県教育委員会 県内7箇所(受付(政令市を除く))

連絡先及びこれらの窓口についての問い合わせ先 福利課 ☎054(221)3181

高校生の研究成果を多くの方に

静岡県立大学環境科学研究所、静岡県工業技術研究所及び静岡県環境衛生科学研究所が主催する「環境フォーラム21」において、高校生の皆さんの自然科学に関する研究発表の場を設けます。発表の後は、研究者の皆さんと研究について直接話し合うことができます。是非、御参加ください。研究発表の詳細については、お問い合わせください。

日時 平成24年11月12日(月) 17時30分～18時30分 研究発表(ポスター形式) 18時30分～ 研究者との交流タイム(軽食付き)

場所 静岡県立大学環境科学研究所 1階 大講義室

参加料 無料

申込期限 平成24年10月17日(水)

申込先・詳細問い合わせ 静岡県立大学 環境科学研究所 所長室 秘書 環境フォーラム21係 宛

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 ☎054(264)5729(所長秘書:杉山)

HP http://kankyuu-shizuoka-ken.ac.jp/center/exchange.html

語学教師を対象とした国際会議

第38回全国語学教育学会年次国際大会(JALT2012)開催

会期 平成24年10月12日(金)～15日(月)

場所 アクアシティ浜松(浜松市中区)

内容

- ・語学教育の専門家の基調講演、研究発表、ワークショップ、討論会、ポスターセッション
- ・児童、中・高校生向けの語学教育や指導法に焦点を絞ったミニカンファレンス「JALTジュニア」(13,14日)。実践や講義を通じて、知見を深め、参加者の指導法の向上につなげます。

申・間 特定非営利活動法人 全国語学教育学会事務局

☎03-3837-1630 E-mail jco@jalt.org HP http://jalt.org/conference

